

仕 様 書

1. 件名及び数量

曲げクリープ試験の作業補助業務 1式

2. 履行場所

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
木質構造第1実験棟及び第2実験棟（茨城県つくば市松の里1）

3. 業務内容

研究課題番号B3bPF2（旧：2ウbPF19）「高層建築物等の木造化に資する等方性大断面部材の開発」で実施する試験体の曲げクリープ試験の補助を行う。

4. 業務内容詳細

等方性大断面部材（以下、試験体と称する）について、以下の試験作業に関する補助を行うこと。

（1）試験体の撤去（準備及び調整）

- 1）試験装置に設置する変位計取付用治具を一時的に撤去すること。
- 2）試験装置に設置してある試験体を撤去すること。

（2）試験体のセット

- 1）加力部分を支持する治具を準備すること。
- 2）加力部分を支持する治具を試験装置に配置すること。
- 3）加力部分を配置した試験装置に試験体を設置すること。
- 4）試験体を加力する部分の準備及び設置の調整をすること。
- 5）加力部分を試験装置の所定の位置に配置すること。
- 6）加力するための錘を調整すること。
- 7）支点の準備及び設置の調整をすること。

（3）曲げクリープ試験の測定系のセットアップ

- 1）変位計をマグネットベースに取り付けること。
- 2）マグネットベースを介して変位計を加力部分及び試験体中央部に設置し、変位計とデータロガーをケーブルで接続すること。
- 3）設置した変位計が適切に作動するか確認すること。
- 4）温湿度センサをデータロガーに接続する作業を補助すること。
- 5）データロガーのバックアップ電源を設置する作業を補助すること。

（4）曲げクリープ試験実施に関する作業補助

- 1) 曲げクリープ試験開始時に加力部分を支持する治具を操作する作業を補助すること。
- 2) 曲げクリープ試験開始後、加力部分を支持する治具を回収する作業を補助すること。
- 3) 試験開始後、設置した変位計が適切に作動しているか確認すること。
- (5) 曲げクリープ試験後の曲げ強度測定の実施補助
 - 1) (1) で撤去した試験体の曲げ強度試験を実施するための準備を補助すること。
 - 2) 曲げ強度試験実施時に測定系が正しく作動していることを確認すること。また、異常が認められた時は、速やかに担当者に連絡すること。
 - 3) 曲げ強度試験終了後、破壊近傍部から含水率測定用試験片を採取する作業を補助すること。
- (6) 試験環境周辺の整理
 - 1) 曲げクリープ試験開始後、準備した変位計の梱包品、加力部分を支持する治具、測定系の付属品を整理すること。
 - 2) 曲げクリープ試験装置周辺の清掃を行うこと。

5. 履行期限

令和9年3月5日（金）

6. その他

- (1) 業務を行うにあたり、管理責任者を必ず配置すること。
- (2) 業務に関しては、森林総合研究所の担当者と実施日程を調整すること。
- (3) 測定等に必要な機器等については、履行場所に備え付けてあるものを使用すること。
- (4) 作業の実施にあたっては、労働安全衛生法、その他の関係法令を遵守し、安全の確保を図ること。
- (5) 本業務の実施により知り得た情報については、適正な管理を行い、その機密を保持するとともに、本業務以外の目的のために使用しないこと。なお、契約期間終了後も同様とする。
- (6) 本仕様書に記載のない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、森林総合研究所担当者と協議の上、実施すること。

質問の受付〆切：令和8年10月6日（火） 17時 まで